



	全体会	新倉ふれあいの森	白子・大坂ふれあいの森 (地域の会と協力)	樹林公園
8月	8日 新任教師研修会 講義と現地案内 10日 県水環境課・和光湧水検査 26日 環境マップ検討会 (10時)	20日 定期保全	17日 大坂保全協力	8月9日 9時～ 外来種 調査下見
9月	4日 白子生き物観察会 6日 シニヤ共助担い手塾 公益財団法人いきいき埼玉活動支援	17日 定期保全	21日 大坂保全 白子宿富澤湧水調査保全	

今年も中高生が“夏休み里山保全ボランティア体験”に参加しました

和光市社協のボランティアセンターが夏休み中の様々なボランティア体験の受け入れを実施しています。福祉が中心に行われていましたが、自然環境への関心が高まるにしたがって、保全ボランティアも関心が高まってきています。当会は4年前から“里山保全ボランティア体験”の希望者を、社協を通して受け入れてきました。和光の自然を学び大切に守る体験をしてもらう企画です。リピーターもいて夏の保全に役立つボランティアたちです。

和光の自然環境の保全に関しては、中高生および大人が参加する企画として昨年埼玉県の実業で取り上げられ、県の支援事業として実施し、その成果を環境国際センターで発表しました。当会では、“自然環境を知り、守り、活かす”全体の活動を里山保全ボランティアと位置づけています。

第1回 28年7月24日：白子湧水群の里山保全ボランティア体験



参加者：中学生4名、高校生2名（リピーター参加）、会員：7名

内容：白子宿特別緑地保全地区に指定された富澤湧水の特徴的な自然環境を観察し学び、斜面上部の保護地に指定された地域の草刈りをして、周遊出来るコース作りを手伝っていただきました。その後白子コミセンで意見交換と交流をしました。



第2回 28年7月26日：和光樹林公園どんぐりの森の里山保全ボランティア体験



参加者：中学生3名（リピーター参加）、会員：5名

内容：7月6日に第3中学校生徒6名が、職場体験としてどんぐりの森保全を体験しました。今回のボランティア体験では同地の保全をさらに進め、日が差し良好な森にしました。

